

# 進路通信

大阪府立鳳高等学校進路指導部  
進路通信編集局  
令和2年 10月15日発行(第5号)

## 科目選択、最終確認を！

1、2年生の皆さんは、ガイダンス週間が始まり、今日は「来年度の科目選択申請書の点検です。まず1年生は、興味関心のある分野は見つかってきましたか。まだ1つに絞らなくてもいいですが、大きく自然科学系か、人文社会科学系かはめどを付けましょう。2年生は分野への志望が固まったら、目標とする大学や学部についての内容、入試科目について、調べつくしましょう。必要な資料は取り寄せましょう。12日(月)から「1、2年生保護者対象進路説明会」を本校HPで動画配信しています。ぜひ保護者の方に見ていただくよう、皆さんからも伝えてください。生徒・保護者対象説明会のポイントを載せておきます。

### 【今、すべきこと】

#### ①授業への集中・日々の復習。

1～2年次の基礎科目を確実に定着させることが大事。共通テストの「範囲」は1～2年の教科書内容が土台です。私立大学も同じ。理科、社会は3年で初めて習う教科もあるので、国数英の基礎は1、2年で仕上げとどれだけ早く理・社に取り掛かれるかが鍵。既に習ったところがあやふやだと新しい所の学習も入りにくく、「苦手」科目になってしまいがち。そうならないように、まずは毎時間の授業理解を確実にし、提出課題を自分で考えて仕上げ、定期考査ごとにその範囲を「学びきる」ようにしましょう。

#### ②家庭学習のリズムを一定にすること。

何時になったら勉強を始める、いつ終わる。食事・起床・学習時間は固定しましょう。

#### ③外部模試を受験する。

順位や判定はあくまで目安。学習が不完全な分野を発見することが大切。「解き直し」「解説書熟読」が何より大事。振り返りをする人としらない人で、成績の伸びに差がつくということが各種調査から分かっています。また入試では、試験時間が80～120分の大学もあるため、考え抜くスタミナ・集中力をつけるためにも、またマーク式、記述式それぞれに慣れておくためにも必要です。

#### ④現在の景気や流行に流されないで、進路を考える。

「自分の夢・希望・やりたいこと」を継続する意思が、将来の就職への道でもある。自分で決めることが大切。人生において満足度が高いのは、自分で決めた人！

## 1年生「職業別フロに聞く」がありました！

10月1日(木)の6、7限目に、1年生に向けて「職業フロに聞く」がありました。様々な職業の方や大学・専門学校等の講師の方々を招き、職業別に各教室や講義室等に分かれて仕事内容や進路実現の方法を語ってもらいました。そこで、話を聞いた皆さんの感想をいくつかご紹介します。自分が聞いた職業以外の話はどのようなものだったか、ぜひ参考にしてください。

(フライトアテンダント)

自分の想像よりも体力をつかうことに驚きました。自信のあるコミュニケーション能力を生かすことができる職だと思いました。

(電子電気系研究・技術者)

もうこんなところまで技術は進んできているのかと驚きました。技術者になるためには、どんなことも楽しんでいくことが大切だと学びました！

(薬剤師)

お金はかかるのも仕方ないというくらいたくさんのお金を勉強しないといけないことを知りました。でも話を聞いていて、やっぱりやりたい！と思いました。

10月16日(金)は大学入学共通テストトライアルの申し込み締切日です！検索すれば河合塾のサイトがヒットします。申し込みをすればマークシートが送られてきて、25日(日)には無料で自宅受験できます。(後日行ってもよい)。非常に有用ですので、ぜひ応募してください。

10月29日(木)には、2回実施した「学びみらいPASS」の講演会があります。せっかく受けたテストを有効に使うためにも、しっかり話を聞いて今後活かしていきましょう。

## 2年生「学部学科別ガイダンス」がありました！

10月13日(火)放課後、対面またはリモート形式での学部学科別ガイダンスがありました。大学の先生から直接、大学での授業内容や各学部についての詳しい説明を学校で聞ける貴重な体験でした。

今は自分の進路について考える時です。そのために、①「本やHPなどを参考に自分で調べる」②「わからない箇所があれば、先生や先輩などに相談する」(今回のガイダンスに参加した人は参考に) (今はまだ難しいですが・・・)③「志望する学校へ直接、行ってみる」

※今すべきことを先延ばしにせず、「出来ることはきっちり」実行していきましょう。

予告：10月22日(木)5～7限 進路講演会 4クラスずつ多目的室にて実施します。外部より講師の先生に来て頂き、入試に向けての心構え、勉強の仕方などについてのお話を聞きます。モチベーションアップにつなげましょう。